

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
広川町	広川町	平成 24 年～平成 28 年	平成 24 年～平成 28 年

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成 年度)	目標 (割合※1) (平成 年度) A	実績 (割合※1) (平成 年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	t	t ( %)	t ( %)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t ( %)	t ( %)	%
	家庭系 総排出量	t	t ( %)	t ( %)	%
	1 人当たりの排出量	kg/人	kg/人 ( %)	kg/人 ( %)	%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	t	t ( %)	t ( %)	%	
再生利用量	直接資源化量	t ( %)	t ( %)	t ( %)	%
	総資源化量	t ( %)	t ( %)	t ( %)	%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t ( %)	t ( %)	t ( %)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成22年度)	目 標 (平成29年度) A	実 績 (平成29年度) B	実績/目 標※3	
総人口	7,844	7,516	7,153	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	137	340	137	0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1.7%	4.5%	1.9%	7.1%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口				%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	2,453	3,467	2,951	49.1%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	31.3%	46.1%	41.3%	67.6%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	2,764	1,202	1,746	65.2%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの						
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの		浄化槽設置整備事業	広川町	生活雑排水による公共水域の水質汚濁を防止し、公共衛生の向上と生活環境の改善を図る。  計画基数 5人槽 120基 7人槽 90基 10人槽 5基 単独撤去 6基 合計 215(6)基	平成24年度～平成28年度  (平成24年度～平成28年度)	設置基数 5人槽 77基 7人槽 50基 10人槽 4基 単独撤去 1基 合計 131(1)基
施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他						

### 3 目標の達成状況に関する評価

いずれの項目においても目標に対して未達成である。

合併処理浄化槽については、本計画の浄化槽整備予定基数から見ても、当初整備予定基数 215 基に対し実績は 131 基（当初予定基数の約 61%）と下回っており、浄化槽整備基数が少ないことが目標未達成の原因と考えられる。

また当町では例年人口が減少化状態にあり、それも原因の一つと考えられる。

目標未達成ではあるが、汚水衛生処理人口は増加しているので、水洗化は進んでいると考えられる。

今後も浄化槽設置整備事業を継続していく上で、補助制度の見直しや普及啓発など改善していく必要がある。

#### (都道府県知事の所見)

広川町の生活排水処理には、現在、公共下水道と合併処理浄化槽の 2 種類存在するが、公共下水道については対象区域内の整備が完了しており、更なる処理人口の増は見込めないため、生活排水処理の整備は実質、合併処理浄化槽の普及に掛かっている状況にある。

合併処理浄化槽では、広川町は、国・県の基準額の 5 割増しの手厚い整備支援を行っている。目標未達成であったが、人口減少局面において、計画期間中に処理人口が 500 人近く増え、町全体の未処理人口も 1,000 人近く減っており、着実に整備が進んでいると言える。